

材料準備について

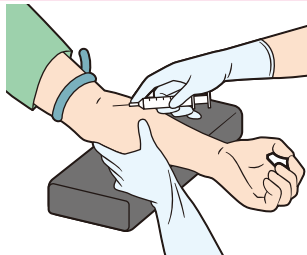
●腫瘍部

末梢血、骨髄液、ホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)のうち、いずれか1種類※をご提出ください。各材料は腫瘍割合が20%以上である必要があります¹⁾。また、出検までは登録衛生検査所指定の保存条件による管理をお願いします。

※:新鮮検体(組織、体腔液)をご提出の場合は、事前に登録衛生検査所へご相談ください。

新鮮検体

末梢血

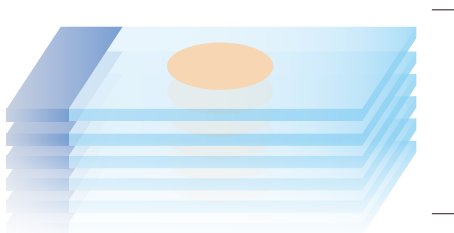


骨髄液



●採血管および骨髄液専用の容器の本数や採取量は、登録衛生検査所へお問い合わせください。

FFPE^{1,2)}



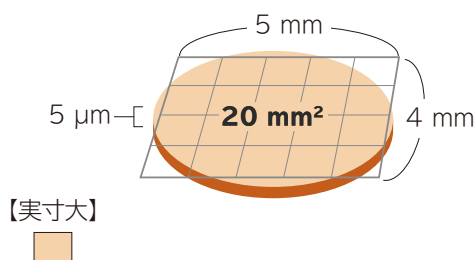
未染色薄切標本*



スライド合計の組織部体積が2 mm³以上

*:腫瘍割合は、あらかじめHE染色などで20%以上であることをご確認ください。

【例:切片の厚さが5 μm、組織面積が20 mm²の場合】



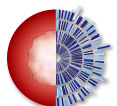
●マクロダイセクションを希望される場合は、登録衛生検査所へお問い合わせください。

注意事項

- FFPE標本は日本病理学会「ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規程」の推奨条件に基づいて作製してください。
- ほかの患者さんの材料によるコンタミネーションを避けるため、切片作製時は材料ごとに新しいマイクロームブレードをご使用ください。

1) ヘムサイト診断薬 電子添文 2024年9月作成(第2版)

2) 編集/日本病理学会, ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規程, 羊土社;2019, P130-135.(より作成)



ヘムサイト®

正常部については裏面をご確認ください。

● 正常部

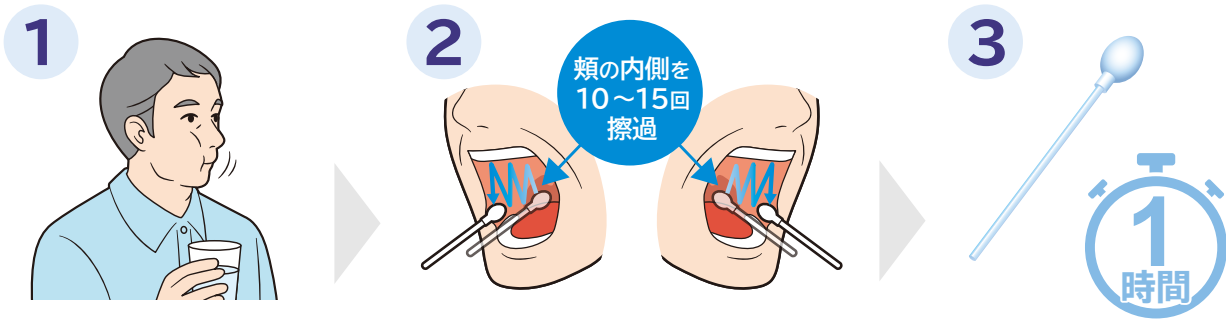
正常部は「**口腔粘膜**」を使用します。うがいが難しい場合などは、「**爪**」を使用することも可能です。

また、出検までは**登録衛生検査所指定の保存条件による管理**をお願いします。

注意事項

- 爪や口腔粘膜を採取する際には、本人確認を確実にを行うために、責任のある第三者が患者さんを確認した上で対面方式にて実施する必要があります³⁾。

口腔粘膜^{3,4)}



食物・母乳などの影響を取り除くため、口腔内を水で十分にすすぐ。

綿棒(スワブ)を用いて右側および左側の頬の内側を擦過する。

採取後、直ちに綿棒(スワブ)を1時間ほど風乾し、滅菌容器に入れる。

注意事項

- 飲食または授乳後は、30分程度経過してから採取してください。
- 採取後の綿棒(スワブ)は、乾いた状態で滅菌容器に入れるようにしてください。

爪³⁾



爪と指の隙間をよく洗い、垢(あか)やごみをできるだけ取り除く。

各指の爪を採取する。

採取した爪を輸送容器に入れる。

注意事項

- 患者以外の爪が混入しないように、患者専用の爪切りを使用してください。
- マニキュアはあらかじめ除光液などを用いて採取前に拭き取ってください。

3) 編集/JCCLS日本臨床検査標準協議会 JCCLS遺伝子関連検査標準化専門委員会. 遺伝子関連検査 検体品質管理マニュアル Approved Guideline (承認文書). 日本臨床検査標準協議会; 2011. P45-47. 4) 造血器腫瘍における遺伝子パネル検査体制のあり方とその使用指針. P57-58. http://www.jshem.or.jp/uploads/files/Cancer%20Mi-G%20P%20Testing_rev20230330.pdf (2025年2月現在) (より作成)

腫瘍部

末梢血 または **骨髓液** または **FFPE**



正常部

口腔粘膜 または **爪**

本検査では、個人が元々有している正常細胞の特徴を結果から除くことで、腫瘍のみに特異的な遺伝子異常を検出します。そのため、腫瘍部だけでなく正常部もご提出いただく必要があります。